

別紙 1

## 物件目録

商品名「マグ・キュート」

5

(別紙2)

被告製品の製品番号目録

(各被告が製造又は販売する製品番号の対応)

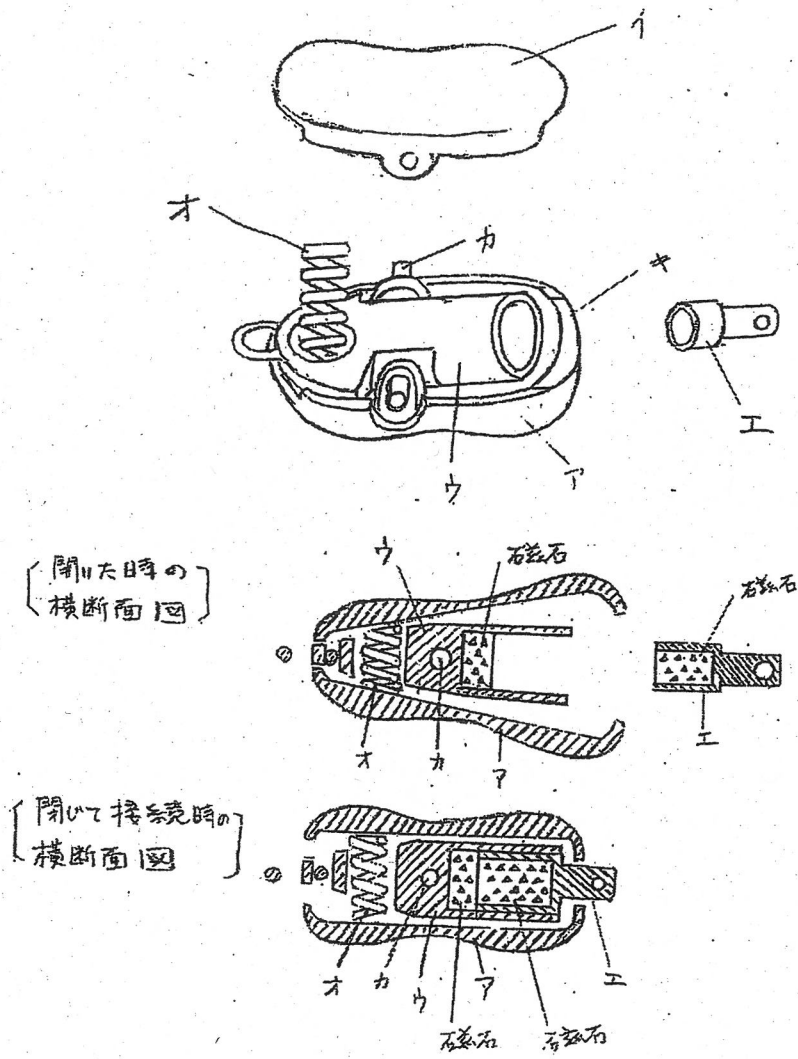
	被告 YI 製品番号 (ロジウムメッキ・金メッキ)	被告石福ジュエリー製品番号	
		ロジウムメッキ	金メッキ
1	MAG-CR302	SCR-330R	SCR-330G
2	MAG-CN302		
3	MAG-CS302		
4	MAG-CR303	SCR-334R	SCR-334G
5	MAG-CH303		
6	MAG-CS303		
7	MAG-CR304		
8	MAG-CN304		
9	MAG-CS304		
10	MAG-CR305	SCR-331R	SCR-331G
11	MAG-CR402	SCR-332R	SCR-332G
12	MAG-CN402		
13	MAG-CS402		
14	MAG-CR404		
15	MAG-CN404		
16	MAG-CS404		
17	MAG-CR406		
18	MAG-CH406		
19	MAG-CS406		
20	MAG-CS407	SCR-337R	SCR-337G
21	MAG-CR409	SCR-333R	SCR-333G
22	MAG-CN409		
23	MAG-CR502	SCR-335R	SCR-335G
24	MAG-CN502		
25	MAG-CS502		
26	MAG-CR504		
27	MAG-CN504		
28	MAG-CS504		
29	MAG-CR602	SCR-336R	SCR-336G
30	MAG-CN602		
31	MAG-CS602		
32	MAG-CR608		

(別紙3)

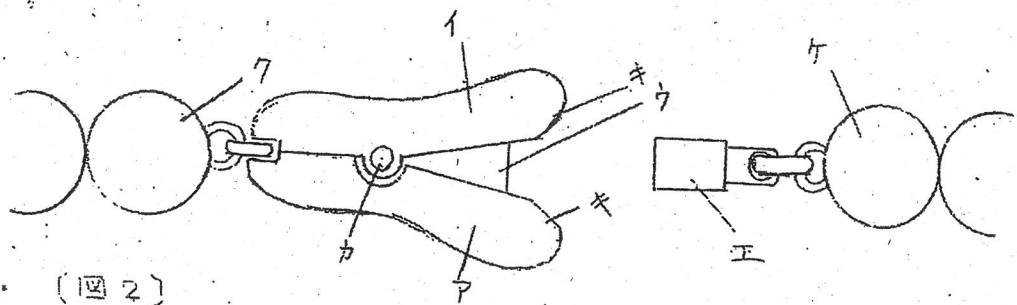
被告製品の構成

①被告製品番号目録1 (MAG-CR302) について

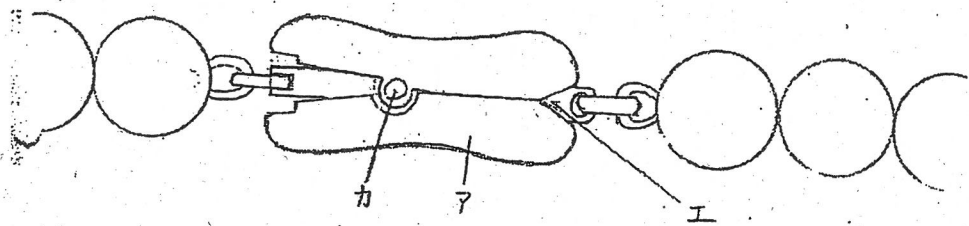
[MAG-CR302の分解図]



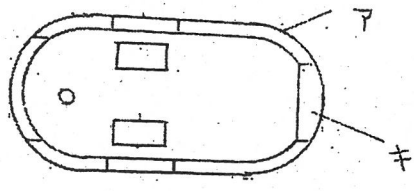
[圖 1]



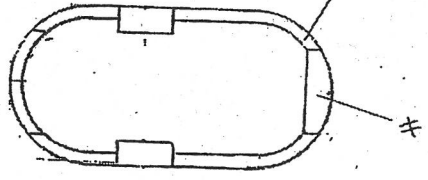
[圖 2]



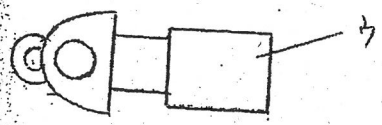
[圖 3]



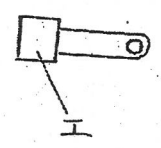
[圖 6]



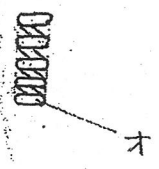
[圖 4]



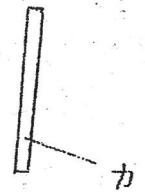
[圖 7]



[圖 5]

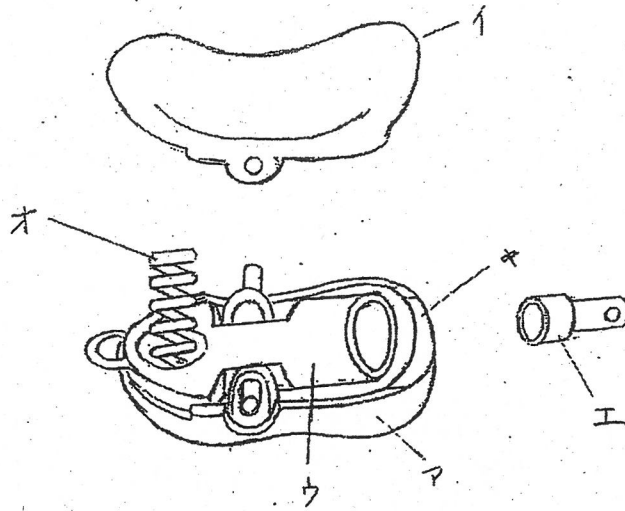


[圖 8]

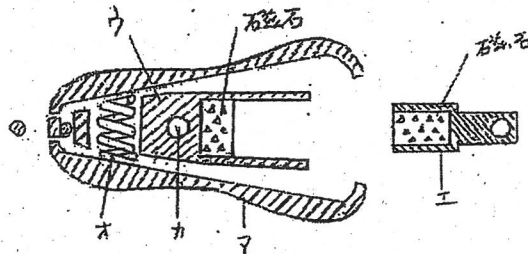


②被告製品番号目録7 (MAG-CR304) について

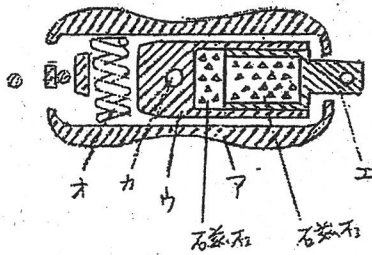
[MAG-CR304の分解図]



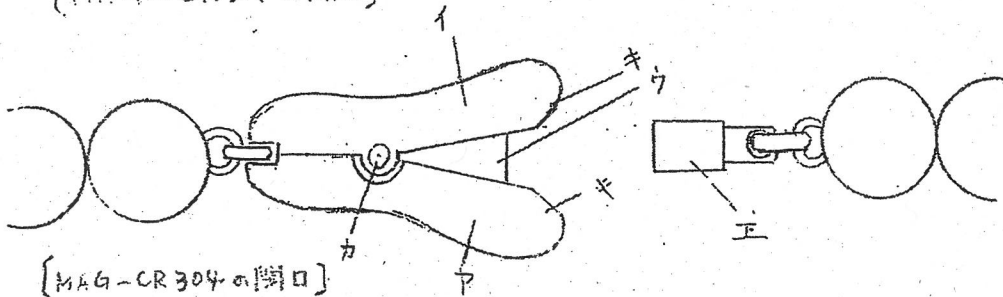
[開いた時の  
横断面図]



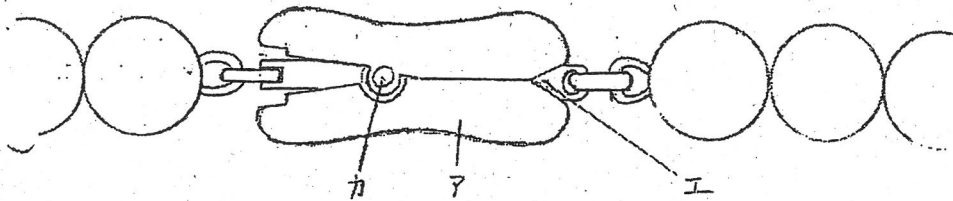
[閉じた接続時の  
横断面図]



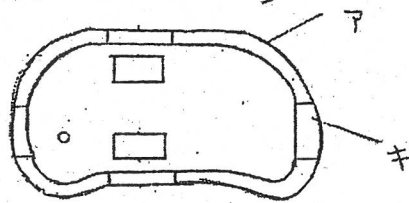
[MAG-CR304の開口]



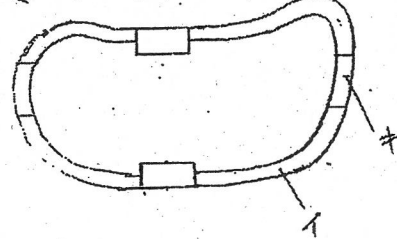
[MAG-CR304の開口]



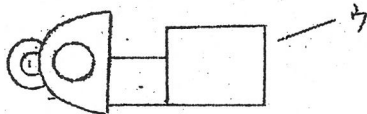
[MAG-CR304の下蓋E]



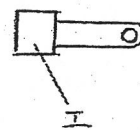
[MAG-CR304の上蓋E]



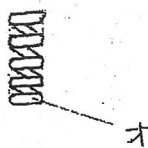
[MAG-CR304の内部不磁石]



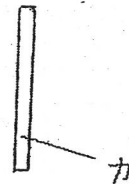
[MAG-CR304のホルダに後]



[MAG-CR304のバネ]

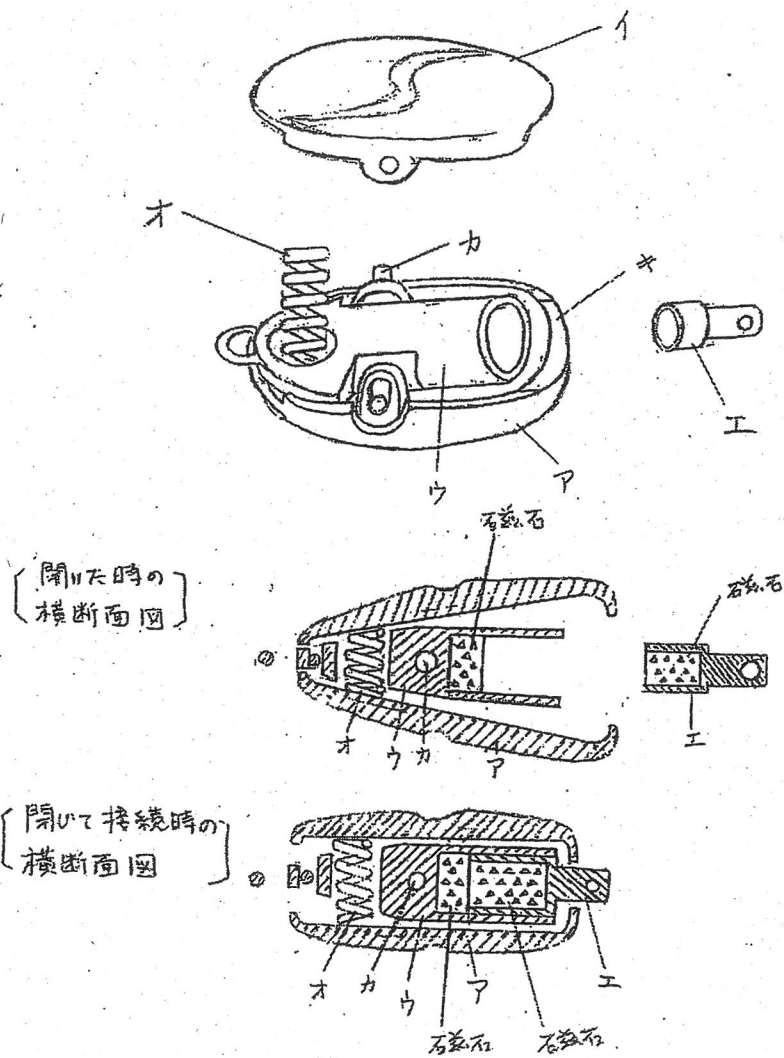


[MAG-CR304の軸]

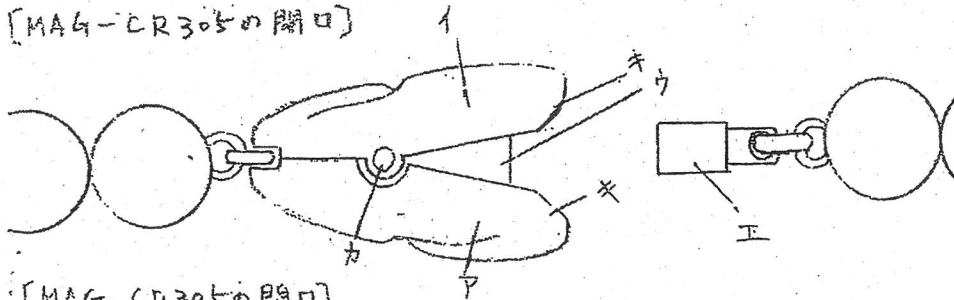


③被告製品番号目録10 (MAG-CR305) について

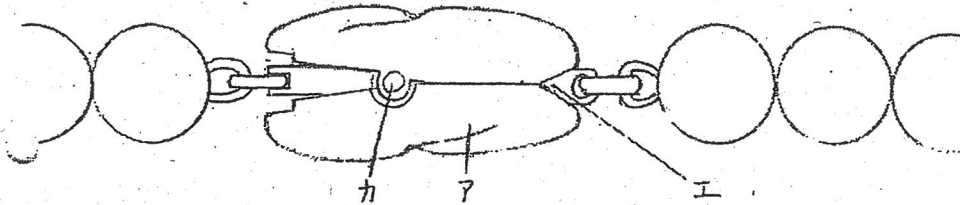
[MAG-CR305の分解図]



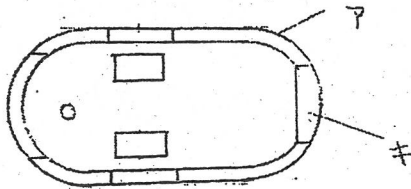
[MAG-CR305の開口]



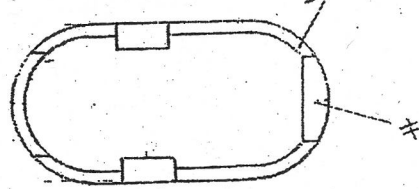
[MAG-CR305の開口]



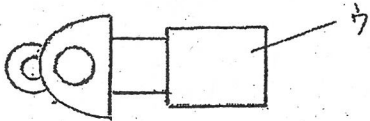
[MAG-CR305の下部分]



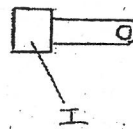
[MAG-CR305の上部分]



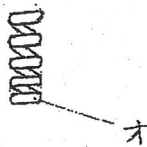
[MAG-CR305の内部に磁石]



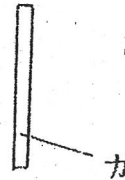
[MAG-CR305のボルト]



[MAG-CR305のバネ]



[MAG-CR305の扉]





本件特許請求の範囲

1 特許公報

【請求項 1】

5 装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって、

前記ホルダーとホルダー受けには、これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に、互いに吸着する磁石の各一方を、あるいは磁石とこれに吸着される金属材を、  
10 それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において、

前記ホルダーが 1 対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鱗口クリップであり、前記ホルダー受けが 1 対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり、かつ、

前記鱗口クリップの内部における 1 対の顎部材間に一方の吸着部材を設け、前記  
15 係止部材の先端に他方の吸着部材を設けた装飾品鎖状端部の留め具。

【請求項 2】

前記鱗口クリップの内部に設けた吸着部材が前記 1 対の顎部材のいずれか一方に固定され、あるいはこの吸着部材を支持する支持部材が前記 1 対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている請求項 1 に記載の装飾品鎖状端部の留め具。

20 2 第一次訂正（訂正 2015-390027号）

【請求項 1】

装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって、

前記ホルダーとホルダー受けには、これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に、互いに吸着する磁石の各一方を、あるいは磁石とこれに吸着される金属材を、  
25 それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において、

前記ホルダーが、ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鱗口クリップであり、前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり、かつ、

前記鱗口クリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け、前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設けた装飾品鎖状端部の留め具。

【請求項2】

装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって、前記ホルダーとホルダー受けには、これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に、互いに吸着する磁石の各一方を、あるいは磁石とこれに吸着される金属材を、それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において、前記ホルダーが1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鱗口クリップであり、前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり、かつ、前記鱗口クリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け、前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設け、前記鱗口クリップの内部に設けた吸着部材が前記1対の顎部材のいずれか一方に固定され、あるいはこの吸着部材を支持する支持部材が前記1対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている装飾品鎖状端部の留め具。

3 第二次訂正（訂正2017-390038号）

【請求項2】

装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって、前記ホルダーとホルダー受けには、これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に、互いに吸着する磁石の各一方を、あるいは磁石とこれに吸着される金属材を、それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において、

前記ホルダーが、1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鱗口ク

リップであり、前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり、かつ、前記鰐口クリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け、前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設け、前記鰐口クリップの内部に設けた吸着部材が前記1対の顎部材のいずれか一方に固定されている  
5 装飾品鎖状端部の留め具。

あるいは、装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって、前記ホルダーとホルダー受けには、これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に、互いに吸着する磁石の各一方を、あるいは磁石とこれに吸着される金属材を、それぞれ吸着  
10 部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において、

前記ホルダーが、ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鰐口クリップであり、前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり、かつ、嵌入するホルダー受けのネック部の大きさは、鰐口クリップの  
15 一对の閉口状態の顎部材の止め部と止め部の間以下の大きさであり、かつ、ホルダー受けの吸着部材の大きさは、鰐口クリップの閉口状態の止め部より後部の一对の顎部材間以下の大きさであり、かつ、ホルダー受けの吸着部材の大きさは、鰐口クリップの一对の閉口状態の顎部材の止め部と止め部の間より大きく、

かつ、前記鰐口クリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け、  
20 前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設け、前記鰐口クリップの内部に設けた吸着部材を支持する支持部材が前記1対の顎部材を軸支する支軸によって支持されている装飾品鎖状端部の留め具。

#### 4 第三次訂正（訂正2018-390028号）

##### 【請求項1】

25 装飾品の片方の鎖状部の端部に設けたホルダーと他方の鎖状部の端部に設けたホルダー受けとを噛合わせて係止する方式の留め具であって、前記ホルダーとホル

ダー受けには、これらを正しい噛合い位置に誘導できる部位に、互いに吸着する磁石の各一方を、あるいは磁石とこれに吸着される金属材を、それぞれ吸着部材として設けた装飾品鎖状端部の留め具において、前記ホルダーが、ホルダー受け嵌入用の開口部を構成すると共に先端部に噛合い形状を形成した1対の顎部材を開口／閉口可能に軸支したバネ閉じ式の鱗口クリップであり、前記ホルダー受けが1対の開口状態の顎部材間に嵌入して係止される係止部材であり、かつ、係止部材は、円柱形状又は円筒形状を持っていて、かつ、係止部材は、吸着部材とネック部で構成  
5 されている、かつ、係止部材の先端側には、細径である段差のない円柱形状又は円筒形状のネック部を介して吸着部材を固定している、かつ、ネック部の直径は、係  
10 止状態にある鱗口クリップの一对の止め部と止め部の間以下であり、かつ、係止部材の吸着部材の直径は、係止状態にある鱗口クリップの止め部より後部の一对の顎部材間以下であり、かつ、係止部材の吸着部材の直径は、係止状態にある鱗口クリ  
15 ップの一对の止め部と止め部の間より大きく、かつ、係止部材の吸着部材の先端から後部までの長さは、係止状態にある鱗口クリップの中の吸着部材と止め部の間以下であり、かつ、前記鱗口クリップの内部における1対の顎部材間に一方の吸着部材を設け、前記係止部材の先端に他方の吸着部材を設けた装飾品鎖状端部の留め具。